Creative Enzymes®

バクテロイデス・オバタス由来のグルクロン酸エステラーゼ 67A、組換え型

Cat. No. NATE-1451

Lot. No. (See product label)

はじめに

説明	酵素学において、アルファ-グルクロンイダーゼ（EC 3.2.1.139）は、次の化学反応を触媒する酵素です：アルファ-D-グルクロンシド + H2O ↔ アルコール + D-グルクロン酸。したがって、この酵素の二つの基質はアルファ-D-グルクロンシドとH2Oであり、二つの生成物はアルコールとD-グルクロン酸です。この酵素は加水分解酵素のファミリーに属し、具体的にはO-およびS-グリコシル化合物を加水分解するグリコシダーゼです。この酵素クラスの系統名はアルファ-D-グルコシドウロン酸グルクロンヒドロラーゼです。この酵素はアルファ-グルコシドウロン酸酵素とも呼ばれます。
別名	EC 3.2.1.139; アルファ-D-グルコシドウロン酸グルクロンヒドロラーゼ; アルファ-グルコシドウロン酸エース

製品情報

種	バクテロイデス・オバタス
由来	大腸菌
形態	35 mM NaHepesバッファー、pH 7.5、750 mM NaCl、200 mM イミダゾール、3.5 mM CaCl2、0.02% ナトリウムアジ化物および25% (v/v) グリセロール
EC番号	EC 3.2.1.139
CAS登番号	37259-81-7
分子量	81 kDa
純度	>90% は SDS-PAGE による
濃度	1 mg/mL
最適pH	7.2
最適温度	25 °C
特異性	キシランの骨格からのグルクロン酸

保管・発送情報

保存方法	この酵素は室温で発送されますが、-20 °Cで保管する必要があります。